



2025年9月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

株式会社 EduLab

東証グロース市場 証券コード：4427

2025年5月14日

2025年9月期 第2四半期（中間期）実績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	24年9月期2Q	25年9月期2Q	対前年同期比
売上高	3,319	2,953	△11.0%
営業利益	△261	171	-
営業外収益	165	134	
為替差益	21	97	
事業撤退益	86	-	
保険金収入	-	30	
その他	58	7	
営業外費用	129	69	
投資事業組合管理費	95	37	
貸倒損失	-	23	
その他	34	9	
経常利益	△225	236	-
特別損失	28	-	
訴訟関連損失	25	-	
その他	3	-	
法人税	11	50	
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	6	
親会社株主に帰属する中間純利益	△269	178	-

- 第2四半期（中間期）の当社グループの経営成績は、売上高**2,953百万円**（前年同期比11.0%減）、営業利益**171百万円**（前年同期は営業損失261百万円）、経常利益**236百万円**（前年同期は経常損失225百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益**178百万円**（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失269百万円）となり、**黒字化しました**。
- 第2四半期（中間期）においては、主に2024年9月期に撤退した教育プラットフォーム事業における減収の影響により、**売上高は前年同期比で減少**しましたが、テストセンター事業、AI事業及びテスト運営・受託事業は堅調に推移しました。
- 費用面では、業務委託費や人件費の削減等により**売上原価、販売費及び一般管理費が減少**し、営業利益は増益となりました。
- また、外国為替相場の変動に伴い、為替差益が生じたことにより、**経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は増益**となりました。

(単位：百万円)

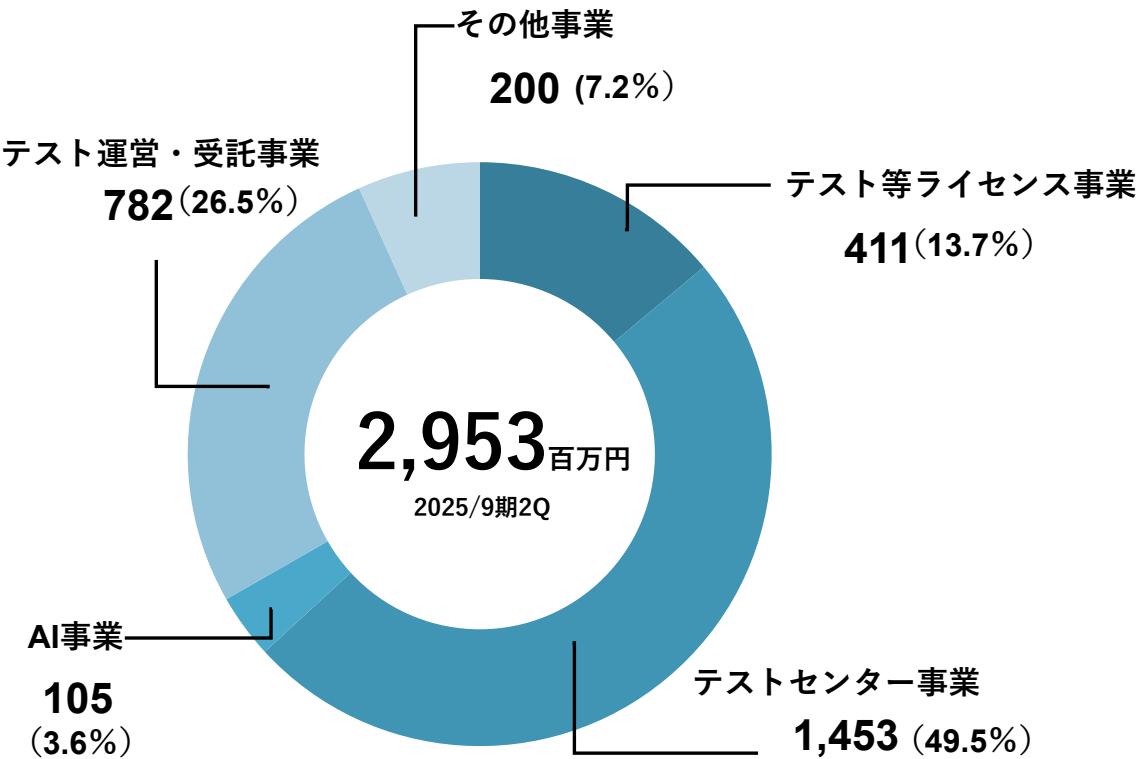
	2024年 9月末	2025年 3月末	増減額
流動資産	2,981	2,814	△166
現預金	1,671	1,356	△314
その他	1,310	1,458	+147
固定資産	661	821	+160
ソフトウェア仮勘定	19	121	+102
投資その他の資産	500	523	+22
その他	141	176	+35
繰延資産	1	0	△1
資産 合計	3,644	3,636	△7
流動負債	1,662	1,589	△72
有利子負債	445	382	△63
契約負債	81	70	△10
その他	1,134	1,136	+1
固定負債	215	175	△39
長期借入金	210	171	△39
その他	4	4	△0
負債 計	1,877	1,764	△112
純資産 計	1,767	1,871	+104
負債純資産 合計	3,644	3,636	△7

- 流動資産は、前連結会計年度末に比べて166百万円減少
 - 現金及び預金が314百万円減少、流動資産その他の内、売掛金及び契約資産で158百万円増加したことなどによるもの
- 固定資産は、160百万円増加
 - 固定資産その他の内、ソフトウェア20百万円、ソフトウェア仮勘定で102百万円、投資その他の資産で22百万円増加したことなどによるもの
- 総資産は、3,636百万円計上し、7百万円減少
- 流動負債は、72百万円減少
 - 有利子負債の内、短期借入金が166百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が194百万円、一年内償還社債が35百万円減少したことなどによるもの
- 固定負債は、39百万円減少
 - 長期借入金が39百万円減少したことなどによるもの
- 純資産合計は、104百万円増加
 - 当期の期間利益により、利益剰余金が178百万円増加したことなどによるもの

事業セグメント別実績

セグメント別の売上高・セグメント利益

(百万円)

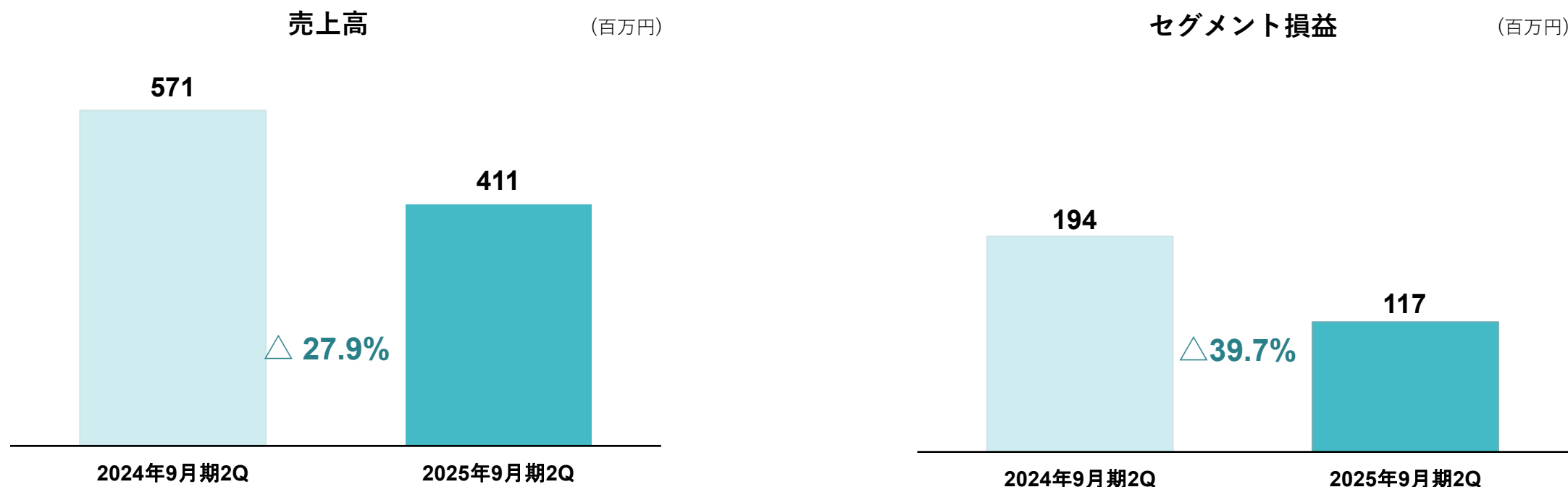


注：（ ）内の数字は売上高構成比

事業セグメント		24年9月期2Q	25年9月期2Q	前年対比
テスト等 ライセンス	売上高	571	411	△ 27.9%
	セグメント利益	194	117	△ 39.7%
テストセンター	売上高	1,426	1,453	+ 1.9%
	セグメント利益	119	152	+28.0%
AI	売上高	90	105	+16.7%
	セグメント利益	△ 0	32	-
テスト運営・受託	売上高	942	782	△ 16.9%
	セグメント利益	32	228	+606.8%
その他	売上高	303	200	△ 34.1%
	セグメント利益	△ 49	32	-
全社費用		△ 558	△ 392	165百万円 減少

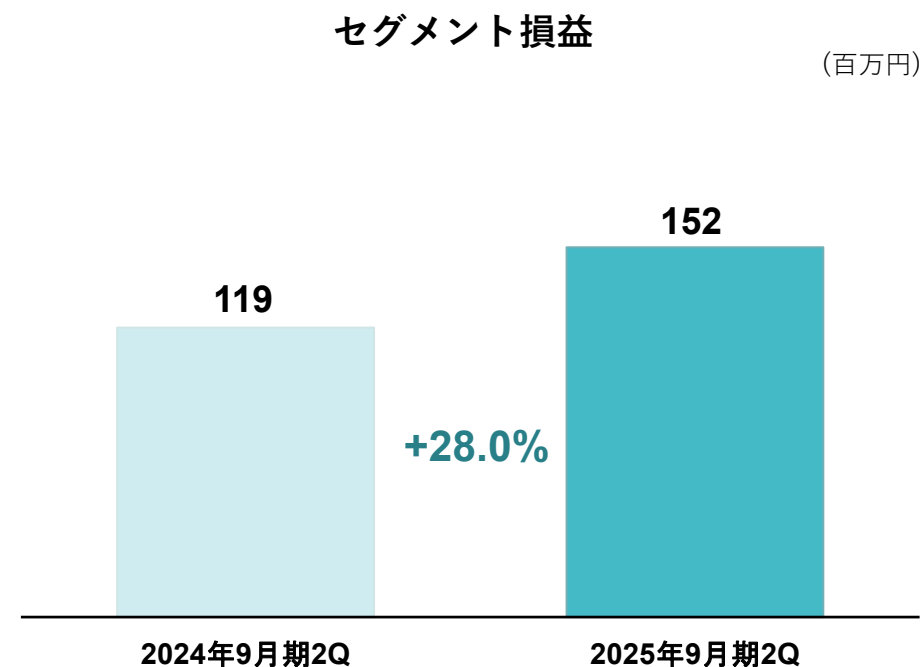
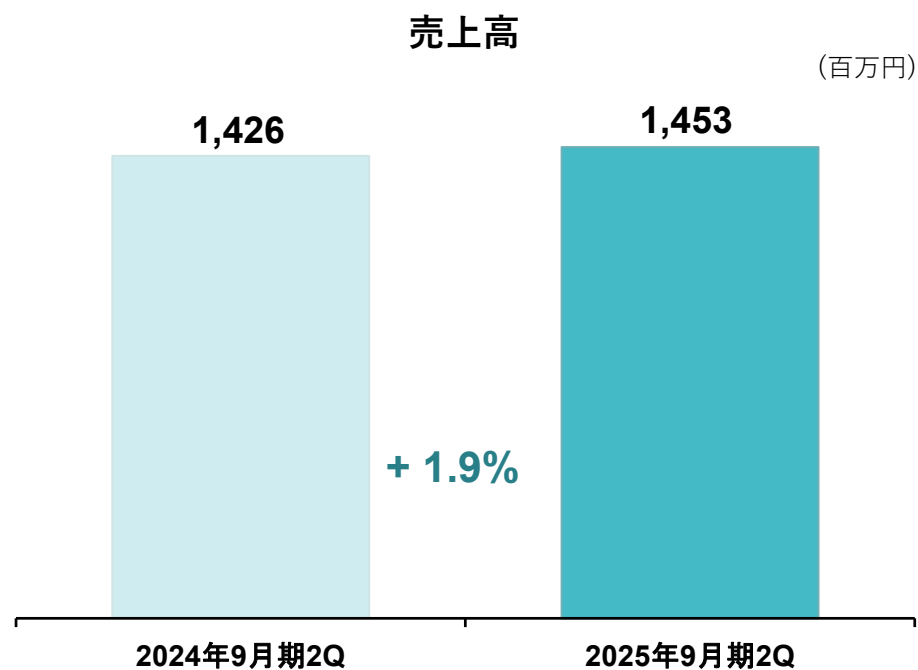
- オンライン英語テスト「CASEC」のライセンス収入及び英語スピーキングテストに伴うライセンス収入が減少したこと、終了したサービス等の影響により、売上高及びセグメント損益は減少しました。
- 上記の結果、売上高は前年同期比27.9%減となる411百万円、セグメント利益は前年同期比39.7%減となる117百万円となりました。

売上高・セグメント損益



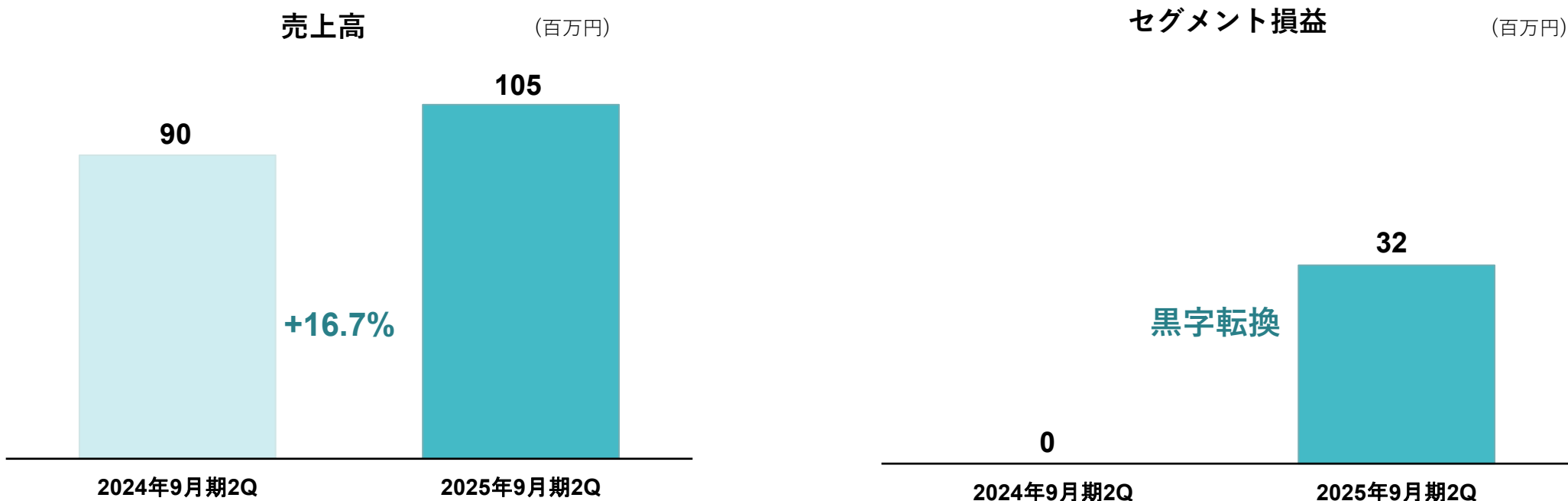
- テストセンター利用者数が安定して推移し、テストセンター利用者数は2025年9月期第2四半期（中間期）で約25万人（前年同期比2.71%増）と順調に推移しました。
- 上記等の結果、**売上高は前年同期比 1.9%増となる1,453百万円、セグメント利益は前年同期比 28.0%増となる 152百万円**となりました。

売上高・セグメント損益



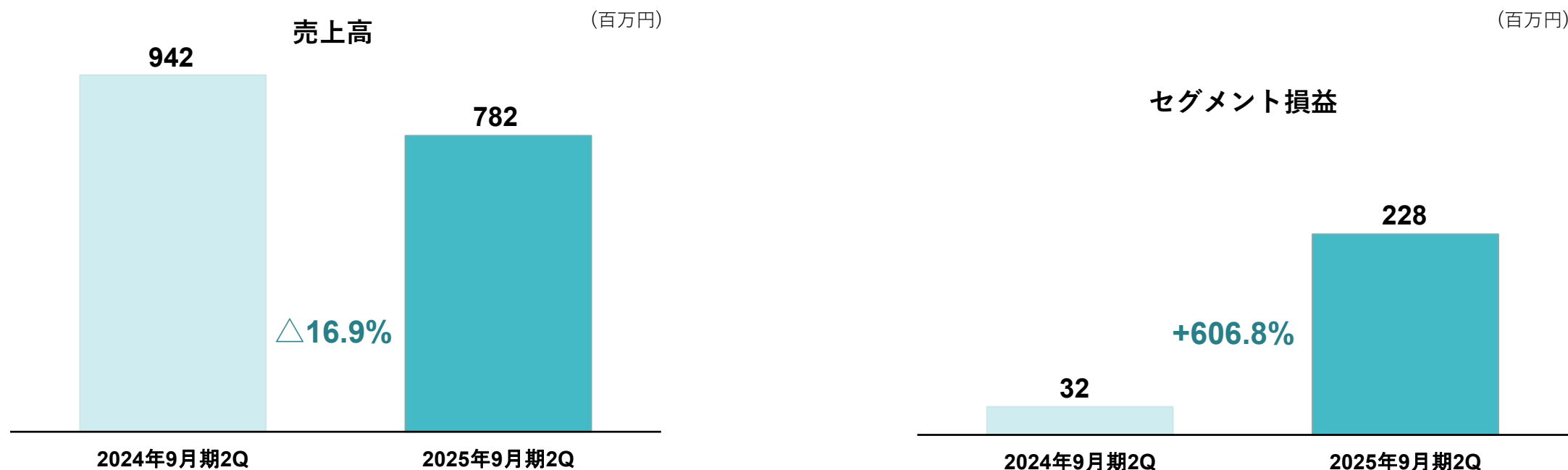
- 手書き文字認識「DEEP READ」ライセンス収入が安定して推移した結果、売上高は増収となりました。
- 売上高は前年同期比 16.7%増となる105百万円、セグメント利益は前年同期セグメント損失0百万円に対して32百万円となりました。

売上高・セグメント損益

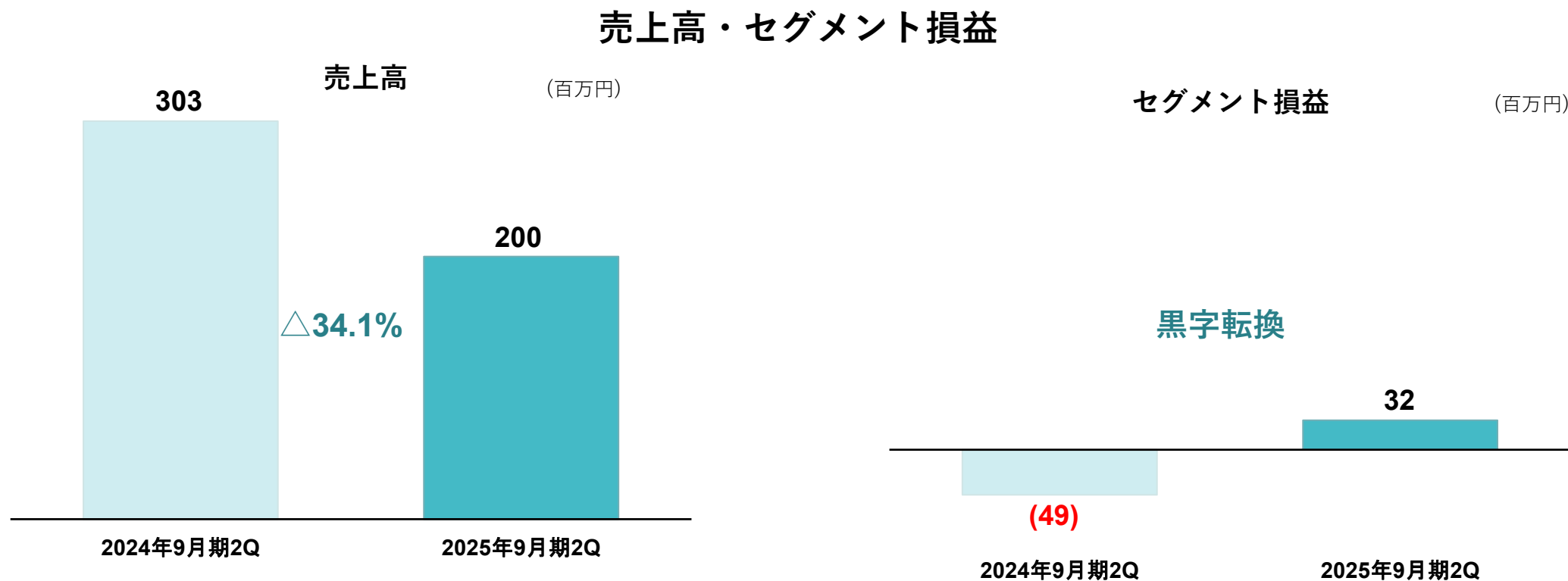


- 前事業年度に単独で受託した文部科学省による小学校の全国学力・学習状況調査事業を当事業年度は再委託機関として受託しました。
- 上記等の結果、売上高は減収となった一方で、業務の内製化によるコスト削減等により、利益率は大幅に改善しました。**売上高は前年同期比16.9%減となる782百万円、セグメント利益は前年同期比606.8%増となる228百万円となりました。**

売上高・セグメント損益



- 2024年3月に教育プラットフォーム事業から撤退したことにより減収となりましたが、サービスを継続した広告事業は順調に推移しました。
- 売上高は前年同期比34.1%減となる200百万円、セグメント利益は前年同期セグメント損失49百万円に対して32百万円となりました。



通期連結業績予想の修正

当社は最近の業績の動向等を踏まえ、通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

2025年9月期通期連結業績予想の修正数値(2024年10月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	50	10	△350	△34.25
今回発表予想 (B)	6,000	230	160	△50	△4.89
増減額 (B-A)	-	180	150	300	
増減率 (%)	-	360.0%	1,500.0%	-	
(ご参考) 前年実績 (2024年9月期)	7,141	△325	△492	△1,273	△124.61

- 上半期の堅調な業績回復を踏まえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の通期連結業績予想を上方修正いたしました。
- 引き続き、中計の3つの構造改革（①事業構造改革、②コスト構造改革、③組織体制・企業風土改革）を着実に実行し、持続的成長を図ってまいります。

英語を書く力がメキメキ上がる「UGUIS.AI」を2025年4月25日正式にリリース！

日本の英語教育は、知識習得がメインのインプット型から、英語運用能力に求められるアウトプット型の学習に重点が移行しています。当社グループでは、「英語教育の変化に伴って生じている指導者や学習者の様々な課題を解決する」ことを目的に英語ライティング学習サービス「UGUIS.AI」のβ版を2024年3月22日にリリース。以降、たくさんのお問い合わせを頂戴し、多くの学校や塾でトライアルを行っていただきました。そこで得た貴重なご意見などを踏まえ、機能を改善・追加し、今般正式にリリースしました。リリースに向けては、学校や塾、企業等での団体利用と、個人利用の両サービスがご提供できるような機能を追加し、より多くの方にご利用いただけることを目指しました。



UGUIS.AIを使うと
英語で書く力がぐんぐん伸びる！

◆UGUIS.AIの主な特徴

- 学習機能とコンテンツ**
AIが高品質な問題を数に制限なく自動生成し、容易に繰り返しの学習を可能にします。
- AI即時採点とフィードバック**
AIによって「高品質で安定した採点・添削・具体的なアドバイス」が、何度でも、即時に提供され、個別指導の負担を軽減し、自主学習でも上達を促します。
- AIチャットのUGUIS先生**
まるで先生と一対一で学習しているかのように、学習者は個別の質問が可能となり、学習者の「わからない」を解消します。
- 団体向け管理機能**
生徒ごとの利用状況や学習履歴、各課題への取り組み状況を一目で把握でき、先生の負担を大幅に軽減します。

「わからない」をすぐ解決！AIチャットのUGUIS先生



AI活用で教育現場を本格支援

当社のグループ会社である株式会社教育測定研究所が経済産業省の「令和6年度補正予算 地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金（探究・校務改革支援補助金2025）」の事業者として採択されました。当社グループは、当該補助金の活用について募集があった学校等教育機関に対し、AI英語ライティング学習サービス「UGUIS.AI」を無償でご提供いたします。

◆募集概要

- ・対象：全国の学校等教育機関
- ・募集校数：最大50校（予定）
- ・募集期間：募集終了
- ・導入期間：2025年6月2日～2026年3月31日（予定）

◆経済産業省「探究・校務改革支援補助金2025」について

<https://tankyu-koumu.jp/index.html>

◆教育現場でのUGUIS.AI導入のメリット

英語ライティングの学習に必要な「量と質」を提供することに加え、学習者自身の探究的な学びの高度化、更には教員の教材作成、採点・添削・コメント記入等の業務効率化や省力化を支援します。

株式会社増進会ホールディングスとの 資本業務提供の進捗状況



Z-KAI Group



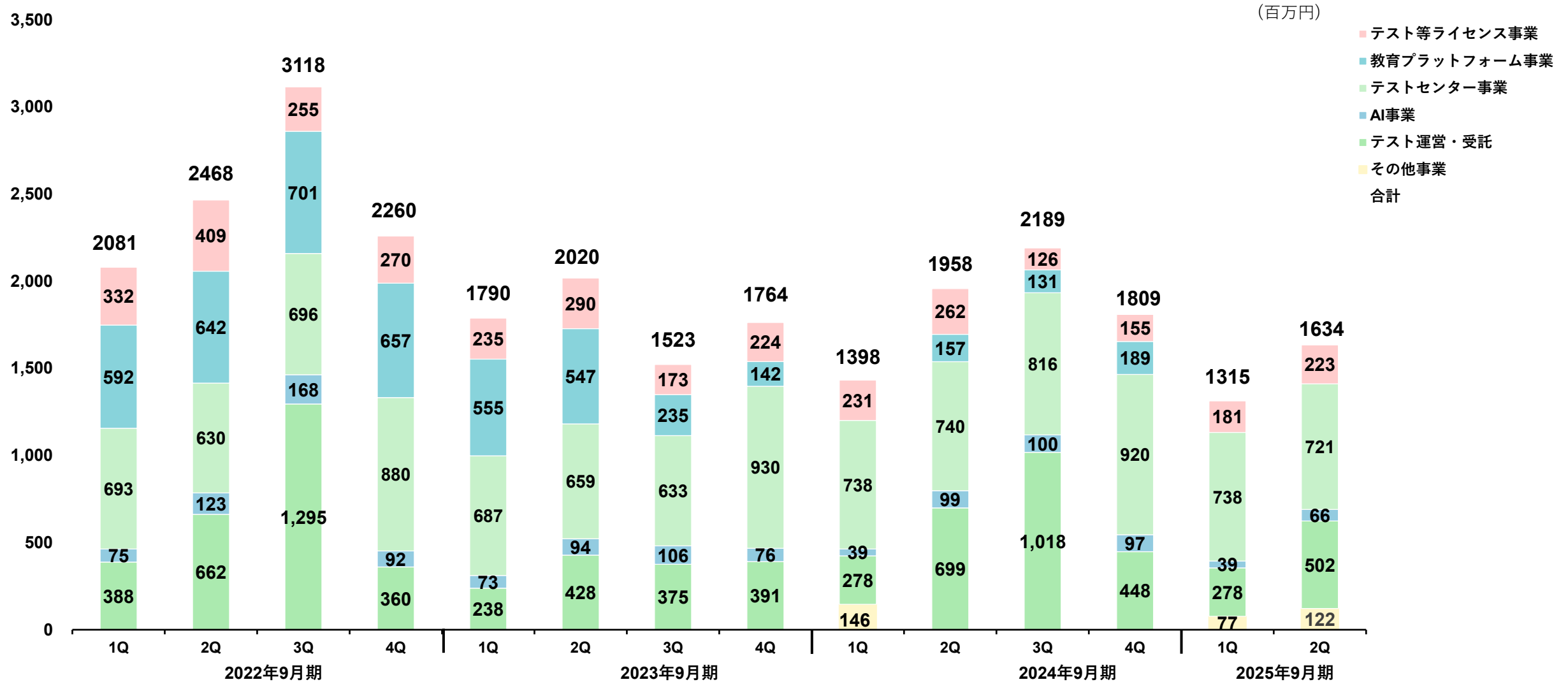
- 2022年7月29日付で株式会社増進会ホールディングスと資本業務提携契約を締結
- 各事業セグメントで複数の分科会を設け、シナジー創出に向けた協議を継続

具体的な協業の成果

- ✓ 2022年10月14日
文部科学省「令和5年度全国学力・学習状況調査を実施するための委託事業（小学校事業）」を株式会社Z会※が落札、教育測定研究所は再委託先として受託
- ✓ 2023年2月2日
横浜市「横浜市学力・学習状況調査（令和5年度実施）データ入力・処理委託」を教育測定研究所が落札
- ✓ 2023年9月27日
2023年冬より、株式会社Z会の通信教育受講者向けに、英語コミュニケーション能力判定テスト「CASEC」を提供することに合意、年間約2万人の受験者数を見込む
- ✓ 2024年3月29日
テストセンター事業の新設分割と新設会社の株式の一部譲渡及びそれに伴う株式譲渡契約（2024年7月5日、株式譲渡実行）
- ✓ 2024年9月27日
文部科学省「令和7年度全国学力・学習状況調査を実施するための委託事業（小学校事業）」を株式会社Z会が落札、教育測定研究所は再委託先として受託
- ✓ その他、他自治体での学力調査等や、信頼性の高いアセスメントの構築に向けさらなる連携を継続中

参考資料

過去の業績推移情報



*2025年9月期より教育プラットフォーム事業はその他事業にセグメント区分変更をしております。

(百万円)

事業セグメント	2022年9月期				2023年9月期				2024年9月期				2025年9月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
テスト等ライセンス事業	73	156	△ 4	43	△ 26	72	△ 14	49	66	97	△ 35	△ 16	25	92
テストセンター事業	91	△ 70	116	199	29	102	54	148	56	87	107	111	53	99
AI事業	△ 145	25	25	17	1	58	69	△ 14	△ 5	20	△ 6	1	△ 4	37
テスト運営・受託事業	△ 61	20	49	23	△ 48	44	△ 37	16	△ 4	36	119	66	△ 4	232
その他事業 (旧プラットフォーム事業)	132	203	213	181	119	107	△ 4	△ 104	△ 21	△ 28	△ 12	△ 25	△ 0	32
全社費用	△ 305	△ 367	△ 378	△ 472	△ 375	△ 299	△ 264	△ 224	△ 275	△ 289	△ 172	△ 204	△ 189	△ 202

